

居場所と出番を、すべての人に。

都議会民主党リポート 2016 新年号

東京都議会議員 (三鷹市選出)

中村ひろし



【中村ひろしプロフィール】 1971 年愛知県一宮市生まれ。一橋大学法学部卒業後、電機メーカー勤務を経て、2002 年行政書士事務所を開設。2003 年から三鷹市議会議員 2 期、2009 年から東京都議会議員 2 期。現在、都議会都市整備委員会委員長。

新国立競技場の都負担は納得できる説明を 非正規社員の正規雇用化、障がい者施策に取組め

平成 27 年第四回都議会定例会が、12 月 16 日に閉会しました。今定例会では、新国立競技場の整備費における都と国の負担合意が行われたことなど、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する課題などが大きなテーマとなりました。都議会民主党は、雇用就業対策をはじめ、高齢者施策、子ども・子育て支援、環境、まちづくり、テロ対策などの課題について、積極的に質疑・提案を行いました。



デザインが決定した新国立競技場技術提案書 A 案 (技術提案書より J S C 提供)



都市整備委員会委員長として議事運営

中村ひろし都議会議員は、都市整備委員会の委員長として議事運営を行いました。また、文書質問「障がい者施策の推進について」を提出し共生社会の実現に向けた取り組みを求めました。皆様には本リポートへのご意見を賜りたく、お願い申し上げます。

新国立で都が395億円もの負担 徹底したコスト縮減を!

外添知事は、政府と新国立競技場の整備費について都が395億円程度を負担することに合意しました。都議会民主党は、都民の理解が得られること、法的根拠があること、過大な負担とならないことが必要であると強く主張してきましたが、今回、知事に対して、都民が受ける便益の内容や負担の積算根拠、法的根拠の見解を求めました。知事は「新国立が、スポーツの振興はもちろん、周辺環境の向上や地域の防災機能の強化など多様な価値を持つシナジー

(遺産) となるとの考えのもと、国で法的措置を講じることも踏まえ、財政負担に応じる決断をした」と答弁しました。都議会民主党は、情報公開や透明性の確保をはじめ、自治体の主体性を守ることを、徹底したコスト縮減を国に対して働きかけることなどを強く求めています。また、オリンピックに関連して、2019 年ラグビーワールドカップへの対応、受動喫煙防止条例の制定を時期を前倒して行うこと、テロ対策に万全を期すこと、外国人観光客の宿泊対応なども求めました。

都市整備委員長として議事を運営

都市計画や杭打ち工事データ流用問題等を議論

中村ひろし都議会議員は、前回の定例会最終日に都市整備委員会の委員長に就任しました。担当分野は幅広く都市計画道路の整備、交通政策、建築物の耐震化、民間住宅施策と都営住宅整備、建築行政等があります。オリンピックを控え、国の大幅な規制緩和により都心では大型ビルの建設が進んでいます。無秩序な開発ではなく計画的な都市整備を行うことが大切です。

委員長として公正公平な議事運営を行い、都政向上に資する議論が行われるよう務めます。委員会では、横浜市のマンションの傾きから発覚した杭打ち工事データ流用問題に関して、多くの議員から活発な質問が行われました。都施設の安全は確認したとのことでしたが、行政や業界の構造的な問題はないのか検証し再発防止を図るため、引き続き取り扱っていきます。

●都政に対する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください

郵便はがき 料金受取人払 三鷹市下連雀三二二一五 YKソナンビル301

中村ひろし 行

Address and contact information for Hiroshi Nakamura, including zip code 181-8790 and building YK Sōnan Building 301.

Form for sending comments and requests, including fields for name, address, phone, and email.

共生社会の実現にむけて 障がい者施策の推進を求める

都議会の本会議で文書質問「障がい者施策の推進について」を提出しました。都議会民主党は、一人一人がかけがえない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人の居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会、「共生社会」を目指して取り組んでいます。知事も所信表明演説では「共生社会」を東京にしっかりと根付かせる」と述べました。2020年にオリンピックと同時にパラリンピックが開催されることから、バリアフリー化、無電柱化の推進が取り組まれますが、「心のバリアフリー」の考え方が浸透し社会全体の理解が進むことが必要です。

質問を通じて、4月から施行される障害者差別解消法への対応や虐待の防止への取り組みを求めました。また、福祉人材の不足が言われる中、特に重度障がいや難病の方々の多様な状況に対応できるヘルパー等の人材養成の重要性を主張しました。

さらに、障がい児が学ぶ特別支援学校の教室不足への早急な対応、障がい者スポーツの促進などについて求めました。



東京都多摩障害者スポーツセンター(国立市)を視察、視覚障がい者用の卓球台では、ピンポン球の中の音の音で場所を確認。

非正規社員の正規雇用化、介護人材の育成を

国の経済最優先の姿勢が、都民の暮らしに格差を拡大し、社会保障への不安が広がっています。とりわけ、非正規社員の割合が4割を超えたことから、都議会民主党は、舛添知事に不本意非正規の正規雇用化の推進、処遇改善に向け、支援策を拡充すべきと訴えました。知事は「国と連携して正社員転換を促進する助成金事業に取り組むなど、誰もが夢と希望を抱けるよう、非正規雇用対策を着実に進める」と答弁しました。

また、国は介護施設等を増やすと発表しましたが、都議会民主党は、介護人材が更に必要になると考え、国の施設備増と取られかねない新たな方針に対し、都として高齢者が安心して暮らせる施策を着実に進めるべきと訴えました。知事は「在宅サービス施設サービスかの二者択一ではなくバランスよく整備することが必要。大都市東京にふさわしい高齢者施策を展開する」と答えました。



都予算に向け子育て施策等 880項目を要望



都議会民主党の役員から舛添知事に要望書を手渡す

12月17日、都議会民主党から来年度予算について880項目の要望書を舛添知事に手渡しました。都の予算は一般会計で約7兆円、特別会計等を加えると約13兆円です。議会の要望を踏まえて知事が予算案を作成し、2月17日から開会される次回定例会で審議します。

要望は、すべて都民生活にとって重要なものですが、重点要望として、子どもの居場所創設、子どもの貧困と引きこもりの実態調査を行い対策につなげることを要望しました。子どもを安心して産み、育てられる環境の整備推進、保育人材の確保・定着を求めました。教育の質の向上について、教職員、スクールカウンセラーなど、人材の配置拡充を求めました。

また、介護や訪問看護に携わる人の確保・育成・定着施策を求めました。さらに、中小企業の販路開拓や、国際会議・海外企業の誘致、時代にふさわしい都市交通の実現、無電柱化の推進、耐震改修促進計画の目標達成に向けた取り組みを求めました。



ひろしのつばき

100年先を見据えたい

奥多摩町と隣接する山梨県丹波山村で水道水源林を視察しました。都は、荒廃した山林を涵養し良質な水を確保するため、奥多摩町から丹波山村にかけて2万ヘクタール以上の広大な水源林を管理しています。丹波山村には「憲政の神様」と言われる尾崎行雄の記念碑があり、東京市長を務めた1909年に視察し、水源林の涵養を決めたと刻まれています。100年先を見据えた先見性を大いに見習いたいと思います。



奥多摩町の水道水源林を視察

お知らせ 都政報告会を開催します

2月13日に都政報告会を開催いたします。どうぞお気軽にご参加下さい。※当日参加も可能ですが、準備の関係上、事前にご一報いただくと幸いです(左のはがきをご利用ください)

Event details including date (February 13th), time (10:00-11:45), and location (Tokyo Metropolitan Citizens' Center, 2F, 1st Conference Room).

Contact information for Hiroshi Nakamura's office, including phone, fax, and email addresses, and a QR code.